

大正十四年 昭和二年 四年 五年五月 五年七月
 農産物平均 一〇〇 七三・七 七〇・五 六一・五 五二・五
 農村需要品平均一〇〇 八二・八 八六・八 六七・四 六八・四
 全 五五・二 全 五八・〇

財団法人協同會大阪支所

大ナル割合資本ノ收メル割合利潤ヲ消費者ニ轉嫁シ得ズレテ自ら負擔シナケレバナラズ。コ、チモ農家ハ搾取サレテキル、シカレモ恐慌ニヨル價格低落ハ、賤價格ヲ以テスル農産物價格ニ於テハルカニ大ナル。

今、先ノ「農業年鑑」ニヨリテ一般ニ農産物價格ト農村需要品トノ低落ノ差ヲ示セバ次ノ如クデアル。所謂缺狀ヲ示シテキル。コノコトノ故モ重ナル原因ハ、割合資本ノ價格統制ニアルコト勿論デアル。

大正十四年	昭和二年	四年	五年五月	五年七月
農産物平均	一〇〇	七三・七	七〇・五	六一・五
			六二・五	五二・五
			五九・四	五九・八
農村需要品平均	一〇〇	八二・八	八六・八	六七・四
			六八・四	六八・四
			五五・二	五八・〇

農園法人協同會大阪支所